設立趣旨書

１ 趣 旨

令和元年版「障害者白書」によると平成28年度の日本の障がい者数は約963万となっています。国民のおよそ7.6%が何らかの障がいを有していることになります（厚生労働省調査）。そしてそれは増加傾向にあります。

障害福祉サービス制度の改善やユニバーサルデザイン等の発展により、障がいがあっても介助サービスなどを利用すれば確かに社会参加しやすくなりました。しかし、不安から一歩が踏み出せない障がい者も多くいます。健常者が障がいのある人と接する機会が少ない事もその一因になっています。

現在活動中の任意団体「チーム響き」では、障がい者が楽しめ且つ気軽に参加しやすいイベントを企画し、社会参加への第一歩を後押ししています。参加者の介助を健常者のボランティアにお願いしたり、障がいを持つ当事者の方を講師に招き「障がいとは何か」を一般市民へ伝える講演会を行う事によって、健常者が障がい者と接する機会を創り、理解を深めていただいています。また、学校と協働し「障がいがあっても一緒に楽しめて自分たちも楽しめる」企画を高校生が中心となって考え、共に活動しています。ピアカウンセリングを通して障がいを持つ人や家族の心のケアも行っています。イベントへの参加者数も1回30名程度に増え、行政を含め、他の障がい者支援団体・当事者団体関連のグループ等との連携も進んでいます。

今後は、これまでの活動を継続していきながら、芸能プロダクションを通じて障がい者福祉を知ってもらう大きなイベントを開催したり、複数校の高校生が連携してイベントに取り組む事が出来る活動を行っていく予定です。

これらの観点から、社会的にも認められた組織にしていくことが最良の策であると考え法人格の取得を決意するに至りました。また、当団体の活動が営利目的ではなく、多くの市民の方々に参画していただくことが不可欠であるという点から、特定非営利活動法人格が最適であると考えました。

法人化する事により、社会的信用度が増すため、市民の要望に応え地域の福祉水準の向上に貢献できると考えます。どんな障がいがあっても前向きに社会参加ができる様に「障がい者と健常者の懸け橋になる団体」を合言葉として、社会の中で共に暮らし自然にお互いを知って支え合うことができる契機づくりを推進して参ります。

２　申請に至るまでの経過

平成 ２６年 ４月 任意団体「チーム響き」発足　朗読支援・介助支援を開始

平成 ２７年 ８月 交流イベント活動を開始

平成 ２８年 ２月 岡山県高校生ボランティアアワード　共感賞　受賞

平成 ２８年 ３月 全国高校生MY　PROJECT　AWARD　特別賞　受賞

平成 ２９年 １１月 岡山市社会教育関係団体　登録

平成 ３１年　２月　岡山市ESD団体　登録　若者の交流イベント活動　開始

令和　元年 １１月 会員間で法人化の意思確認

令和　２年 １月 設立総会開催

令和　２年 ３月　１０日　　　　　　　 特定非営利活動法人　チーム響き

設立代表者 住所又は居所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　岡山県岡山市北区南方三丁目７－２６南方パークマンション３０６

氏名 阿部　磨呂